

おわりに

長崎大学薬学部教授
中嶋 幹郎

平成24年12月に組織された「在宅医療・福祉コンソーシアム長崎」が主体となって展開している文部科学省「大学間連携共同教育推進事業」選定取組「多職種協働による在宅がん医療・緩和ケアを担う専門人材育成拠点」事業（平成24～28年度）も平成26年度は3年目に入り、今年は事業成功に向けた正念場の年になりました。4月には、これまで本事業にご協力とご指導を頂いておりました認定NPO法人長崎在宅Dr.ネットに、正式に本コンソーシアムの連携組織として加わって頂くことが叶い、長崎県における連携・協働の輪を一層広げることができました。その結果、当初描いた計画通りに本取組テーマに沿った授業13科目を3大学が協議し合同開講する形で、長崎県内の大学における単位互換制度である「NICEキャンパス長崎」へ登録することができ、夏季休暇中には、その中の臨床実習3科目「在宅チーム医療早期体験学習」、「地域包括ケア早期体験学習」および「在宅がん医療・緩和ケア実習」をそろって開講することができました。また10月には、本事業の推進責任者が理事・副学長から松坂理事・副学長へバトンタッチされ、松坂理事・副学長が本部委員会の委員長に就任されておられます。松坂先生は3月までは本部委員会の委員として本事業に取り組みまれておられましたが、今後は松坂先生のリーダーシップの下、事業終了後の継続に向けた活動も含めて事業推進を行ってまいります。

本年度、本事業のためにご講演頂きました講師の先生方、また講義・実習にご協力頂きました関係機関の皆様方に心からお礼を申し上げますとともに、今後とも本コンソーシアムの活動に対する変わらないご支援とご指導をどうぞ宜しくお願い申し上げます。

長崎県立大学看護栄養学部看護学科教授
松本 幸子

平成26年度は本事業開始から3年目を迎え、これまで開講した科目に新たに「在宅がん医療・緩和ケア合同実習」と「在宅緩和ケア特論」が開講し、事業の目標である講義7科目、演習3科目、実習3科目を合わせて13科目すべての授業が開講しました。今年度の各授業の学生による評価、満足度も高い結果を得ていますが、本事業の中間評価における改善意見も参考に、これからの事業の後半2年間のさらなる充実に向けていきたいと思っております。特に各開講科目の授業は講師の先生方、授業内容ともたいへん充実した内容ですので、さらに多くの受講学生の確保が課題となります。また、本事業の「多職種協働による在宅がん医療・緩和ケアを担う専門人材育成拠点」を事業終了後も継続していくための授業科目、授業内容の精選、履修者確保等の課題に向けての対応が必要となります。

長崎県立大学としては、国際情報学部情報メディア学科の学生が本事業の3回の県民フォーラムのポスター制作を担当し、事業の趣旨を十分に表現した素敵な作品を作ってくれました。3種類のポスターは県内の多くの場所に掲示されたり、多くの方々に届けられ、県民フォーラムの広報に貢献しました。今後とも、本事業の推進に関係機関の皆様のご協力を、よろしくお願い申し上げます。

長崎国際大学薬学部長
榊原 隆三

「在宅医療・福祉コンソーシアム長崎」は、平成24年度大学間連携共同教育推進事業「多職種協働による在宅がん医療・緩和ケアを担う専門人材育成拠点」を推進するため、長崎県内の大学・職能団体・行政から組織され、平成26年度には新たに1法人が加わり、3年が経過しました。本事業の推進のための大学の責務は、在宅医療と福祉、がん緩和医療と福祉に対する使命感や志を持つ学生を一人でも多く育て地域に送り出したいという点にあります。長崎国際大学の薬学部、健康管理学部、人間社会学部の3学部は、本コンソーシアムの一員として、それぞれの特徴を活かした事業参画および活動を行ってまいりました。平成26年度は、平成25年度に開講した「在宅医療概論」、「在宅チーム医療早期体験学習」、「地域包括ケア早期体験学習」に加え、「地域包括ケア概論」、「地域包括ケア特論」、「在宅がん医療・緩和ケア実習」を開講し、一定以上の受講者を集め、在宅医療・福祉およびその実践に極めて重要な意味を持つ多職種連携に関する啓発活動を実践することができました。さらに、各種専門職および一般市民の方に在宅医療・福祉および緩和ケアについてご理解を深めていただく目的で、長崎県民フォーラム「考えようこれからの在宅ケアを」と題して、「自分で選ぶ在宅ケア!地域包括支援センターから見えるそれぞれの形」、「これからの在宅ケアのあるべき姿」の2題のご講演を佐世保市において主催いたしました。多くの市民、学生の方々に出席していただき、身近になった在宅ケアの諸問題について活発な討論を行うことができました。この場をお借りしてご講演いただいた講師の先生方、また講義・実習にご協力いただきました関係機関の皆様方にお礼申し上げますとともに、今後とも、「在宅医療・福祉コンソーシアム長崎」の活動に対するご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。